

## 東北楽天ゴールデンイーグルスの経済波及効果について

### 1 概要

2025シーズン終了による観客数の確定を受け、アンケート調査や楽天野球団からのヒアリングを基に、東北楽天ゴールデンイーグルス一軍ホームゲームの開催が宮城県内にもたらした経済波及効果を推計した。

推計に当たっては、観客動員実績のほか、県が行ったアンケート調査結果から観客一人当たりの消費額を算出し、宮城県経済波及効果分析ツール（観光消費分析）を用いて試算した。

このうち、アンケートは、楽天モバイルパーク宮城において開催された一軍のホームゲーム（66試合）の公式観客数1,607,686人（楽天野球団調べ）のうち、9月20日（土）に開催された埼玉西武ライオンズ戦の観客に対して実施した（有効回答1,174件、全2,617人のデータを収集）。

この結果、ホームゲーム開催による観客の入場料、交通費、飲食費やグッズ購入費などに伴う直接効果が約151億円、直接効果から生じる各産業への波及効果（1次、2次）が約72億円、合わせて約223億円の経済波及効果と推計した（ただし、いずれも計算モデルに基づく推計値であることに注意が必要）。

なお、この2025シーズンの経済波及効果は、前シーズンと比較しほぼ横ばいであった。

### 2 観客一人当たりの県内消費額（平均額）

区分		入場料等	交通費	飲食費	宿泊費	グッズ購入費	計
宿泊旅行	県内在住	3,154円	5,313円	3,278円	8,167円	2,250円	22,162円
	県外在住		5,801円	2,972円	17,105円	3,513円	32,545円
日帰り旅行	県内在住	3,154円	528円	1,923円		1,022円	6,627円
	県外在住		1,262円	2,333円		1,631円	8,380円

入場料等については楽天野球団調べ。その他は宮城県アンケート調査結果。

### 3 昨シーズンとの比較

区分		2025 シーズン	2024 シーズン	増減（増減率）
前提条件	試合数	66 試合	66 試合	増減なし
	年間観客数	1,607,686 人	1,553,915 人	+ 53,771 人 (+ 3.4%)
	一試合平均観客数	24,359 人	23,554 人	+ 805 人 (+ 3.4%)
	観客一人当たりの 県内消費額（日帰り客）	6,884 円	7,718 円	- 834 円 (- 10.8%)
経済波及効果 A+B		223 億円	224 億円	- 0.8 億円 (- 0.4%)
		一試合当たり 3.4 億円	一試合当たり 3.4 億円	
	直接効果 A	151 億円	152 億円	- 0.3 億円 (- 0.2%)
	1次・2次波及効果 B	72 億円	72 億円	- 0.5 億円 (- 0.7%)
	誘発される雇用者数	2,394 人	2,412 人	- 18 人 (- 0.7%)

(参考) 経済波及効果の年次推移

区分	2025 シーズン	2024 シーズン	2023 シーズン	2020~22 コロナにより 実施せず	2019 シーズン	2018 シーズン	2017 シーズン	2016 シーズン	2015 シーズン
前提条件	試合数	66試合	66試合	69試合	66試合	69試合	66試合	67試合	66試合
	年間観客数	1,607,686人	1,553,915人	1,292,028人	1,732,526人	1,658,347人	1,669,709人	1,517,680人	1,413,517人
	一試合平均観客数	24,359人	23,554人	18,725人	26,250人	24,034人	25,299人	22,652人	21,417人
	一人当たりの消費額(日帰り客)	6,884円	7,718円	6,752円	7,830円	7,378円	7,243円	7,467円	8,015円
観客消費 経済波及効果 A+B	223億円	224億円	178億円	237億円	217億円	225億円	213億円	206億円	
	[一試合当たり 3.4億円]	[一試合当たり 3.4億円]	[一試合当たり 2.6億円]	[一試合当たり 3.6億円]	[一試合当たり 3.1億円]	[一試合当たり 3.4億円]	[一試合当たり 3.2億円]	[一試合当たり 3.1億円]	
	直接効果 A	151億円	152億円	120億円	152億円	138億円	139億円	129億円	127億円
	1次・2次 波及効果 B	72億円	72億円	57億円	85億円	79億円	86億円	84億円	79億円
誘発される 雇用者数	2,394人	2,412人	1,901人	2,388人	2,169人	2,230人	2,006人	1,942人	

区分	2014 シーズン	2013 シーズン	2013 CS	2013 日本シリーズ	2012 シーズン	2011 シーズン	2010 シーズン	2009 シーズン	2009 CS
前提条件	試合数	67試合	67試合	4試合	4試合	68試合	63試合	68試合	70試合
	年間観客数	1,350,293人	1,184,981人	97,089人	100,948人	1,102,688人	1,001,648人	1,067,334人	1,179,770人
	一試合平均観客数	20,153人	17,686人	24,272人	25,237人	16,216人	15,899人	15,696人	16,854人
	一人当たりの消費額(日帰り客)	9,060円	8,975円	11,258円	14,095円	7,531円	7,069円	7,615円	8,328円
観客消費 経済波及効果 A+B	212億円	187億円	18.9億円	24.4億円	145億円	124億円	138億円	155億円	6.5億円
	[一試合当たり 3.2億円]	[一試合当たり 2.8億円]	[一試合当たり 4.7億円]	[一試合当たり 6.1億円]	[一試合当たり 2.1億円]	[一試合当たり 2.0億円]	[一試合当たり 2.0億円]	[一試合当たり 2.2億円]	[一試合当たり 3.25億円]
	直接効果 A	132億円	115億円	11.7億円	15.0億円	89億円	76億円	86億円	93億円
	1次・2次 波及効果 B	80億円	72億円	7.2億円	9.4億円	56億円	48億円	52億円	62億円
誘発される 雇用者数	1,997人	1,769人	183人	234人	1,392人	1,225人	1,363人	1,427人	60人

区分	2008 シーズン	2007 シーズン	2006 シーズン	2005 シーズン
前提条件	試合数	70試合	71試合	62試合
	年間観客数	1,131,173人	1,123,657人	905,820人
	一試合平均観客数	16,160人	15,826人	14,610人
	一人当たりの消費額(日帰り客)	6,302円	6,617円	6,100円
観客消費 経済波及効果 A+B	125億円	129億円	97億円	121億円
	[一試合当たり 1.8億円]	[一試合当たり 1.8億円]	[一試合当たり 1.6億円]	[一試合当たり 1.9億円]
	直接効果 A	75億円	78億円	59億円
	1次・2次 波及効果 B	50億円	51億円	38億円
誘発される 雇用者数	1,115人	1,174人	876人	1,129人